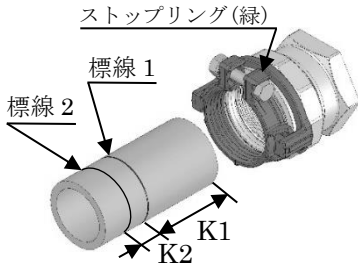


SKX® 施工手順 (水道用銅管 2 形用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。

分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

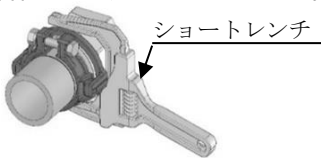
②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくはスベリ止め付グローブで締めなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

- 注2) ・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

③キャップ本締め

ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数(参考締付トルク)**で締め付けて下さい。



- 注3) 低温時は通常より1/4回転増し締めて下さい。

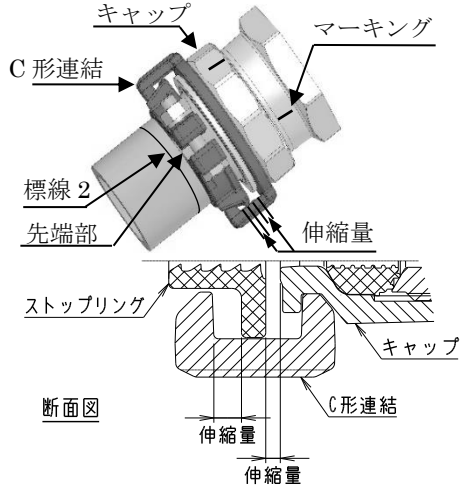
④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。

ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、

呼び径 15~25:先端部を当て締めして下さい。

呼び径 32, 40:スキマ管理で締め付けて下さい。



- 注 4) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。

- 注 5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

- 注 6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入
ストップリング端面が2本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけ**で管と**分離可能です。(分解不要)**

外れにくい場合は、ストップリング締付部を**開放工具**で**広げることにより、管と分離可能です。(分解不要)**

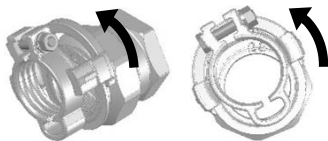
管 呼び径	SR 呼び径 (緑)	本体 呼び径	K (mm)		キャップ		ストップリング (参考締付トルク) (N・m)		六角 対辺	
			K1	K2	十分な手締め 後回転数	参考締付トルク (N・m)				
15	Cu②15	V13	50	+5 -0	5	1/4~1/2	(15)	当て締め	(6)	10
20	Cu②20	16								
25	Cu②25	Su25	55	5	(20)		先端スキマ 6 mm	(10)	10	
32	Cu②32	25								
40	Cu②40	32	60	+10 -0			5		先端スキマ 3 mm	13

※太字：基準値

SKXストップリング（SR）交換手順

①C形連結取り外し

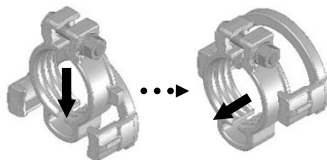
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



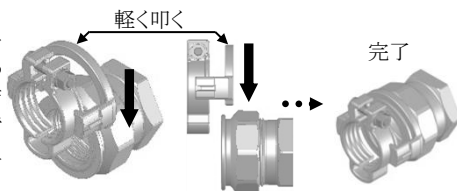
②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方方向に抜く。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



(株)川西水道機器

TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801